

皆様

福島第1原子力発電所の事故以降、被災地を中心に各地で運用されてきた放射線量マッピングシステムは、現在、新たな進化を遂げています。

京都大学原子炉実験所では、2012年より放射線量マッピングシステムに関する会合を開催しており、大学、研究機関、企業、行政組織他の様々な立場の方々の参加のもと、開発や運用に関する事例紹介やそれぞれの立場からの意見交換を行って参りました。

このたび通算で6回目となる研究会として、第5回「原発事故被災地域における放射線量マッピングシステムの技術開発・運用とデータ解析に関する研究会」を下記の要領で開催いたします。

放射線量マッピングシステムの開発や運用に携わる皆様、また関心をお持ちの皆様の参加をお待ちしております。

- 主催：京都大学原子炉実験所
- 日時：平成30年2月27日(火)13:30 – 28日(水)17:00
- 場所：大阪府泉南郡熊取町 京都大学原子炉実験所  
<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/>
- 参加申込・講演申込：

以下の内容をご記入の上、メールにてお申し込みください。

プログラム編成の都合上、講演申し込みは1月末までを目安でお申し込みください。

※講演枠に若干の空きがありますので、引き続き講演申し込みを受け付けます

メール送付先：放射線量マッピング研究会事務局  
([kurama\\_info@rri.kyoto-u.ac.jp](mailto:kurama_info@rri.kyoto-u.ac.jp))

-----

\* 氏名:

\* 所属機関および部署:

\* 連絡先メールアドレス:

(次ページへ続く)

\* 参加希望日: ( ) 2月27日 (火)  
( ) 2月28日 (水)

\* 講演希望: ( ) 希望する  
( ) 希望しない

\* 講演仮題:

\* 講演者所属および氏名 (連名可) :

\* 交通費支給希望:  
\* 予算に限りがありますので学生参加者を優先します

\* 28日の昼食希望:  
\* 500円程度

\* その他連絡事項:

-----

●その他:

若干ですが旅費の用意がありますので、学生の参加者を優先する形で交通費を支給いたします。希望者は申し込みメールにその旨回答ください。

宿泊については各自で手配いただきますが、空室がある場合は原子炉実験所共同利用宿舎 (一泊 1000円) も利用可能です。共同利用宿舎をご希望の方はその旨連絡事項に記入ください。

なお、例年関空ジョイテルホテルを予約される方が多いことから、初日終了後と2日目朝にホテル～実験所間の送迎バスを依頼する予定をしています。関空ジョイテルホテルを予約された方は事務局までご一報いただければ幸いです。

●連絡・問い合わせ先:

京都大学原子炉実験所 放射線量マッピング研究会事務局  
[kurama\\_info@rri.kyoto-u.ac.jp](mailto:kurama_info@rri.kyoto-u.ac.jp)

--

京都大学原子炉実験所  
放射線量マッピング研究会事務局  
[kurama\\_info@rri.kyoto-u.ac.jp](mailto:kurama_info@rri.kyoto-u.ac.jp)